

## ワードの体裁-1 「行頭をそろえる」

2019年7月3日

By ミケパパ

ワードで作った文章を送って頂いて、時々気になることが有ります。

- ・行の頭の部分がそろっていないかったり
- ・余白が大きすぎたり
- ・段落が広すぎたり、狭すぎたり
- ・ページの最後が1行分だけ次のページにはみ出している（だから2ページになっている）

「文章は意味が分かればよい」とおっしゃる向きもあるかもしれませんが、やはり見た目が「きれい」なことに越したことはありません。いずれも大した手間ではありませんので、これから以降ちょこちょこ説明しようと思います。

まず「行頭をそろえる」。例えば、下記の文。

5G スマホの特長は

- ・超高速(10GBPS、4G の 100 倍の送受信。 Wi-Fi がなくても Wi-Fi 並みの送受信速度)
- ・超低遅延(1 ミリ秒、1/10)
- ・多数同時接続(1 平方キロメートル当たり 100 万台、4G のほぼ 10 倍)

よりも

5G スマホの特長は

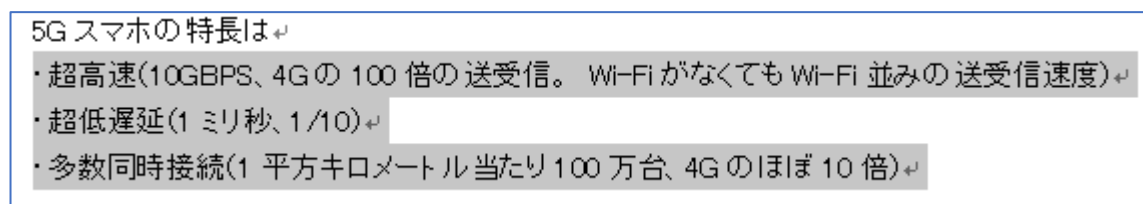
- ・超高速(10GBPS、4G の 100 倍の送受信。 Wi-Fi がなくても Wi-Fi 並みの送受信速度)
- ・超低遅延(1 ミリ秒、1/10)
- ・多数同時接続(1 平方キロメートル当たり 100 万台、4G のほぼ 10 倍)

の方が見た目に「きれい」ですね。

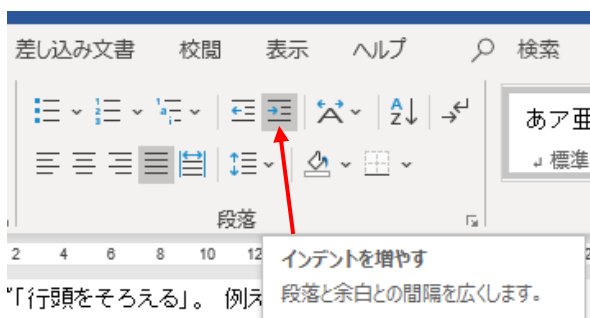
この「行頭をそろえる」方法ですが、「各行の頭にスペースを入れる」ことで可能です。しかしこの方法は手間がかかって大変です。

一度に行頭をそろえるには「インデントを増やす」という方法を探ります。ワードの画面で

① 行頭をそろえる部分をマウスで選択する



② 「ホーム」タブの「段落」グループの「インデントを増やす」ボタンをクリック



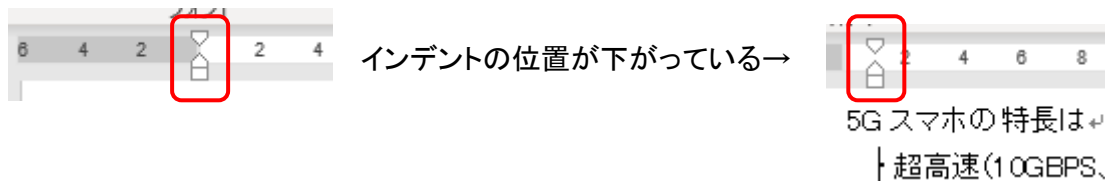
これで、全部の行の頭に1文字分の「インデント」が入ります。

5G スマホの特長は↵

- ・超高速(10GBPS、4G の 100 倍の送受信。 Wi-Fi がなくても Wi-Fi 並みの送受信速度)↵
- ・超低遅延(1 ミリ秒 1/10)↵
- ・多数同時接続(1 平方キロメートル当たり 100 万台、4G のほぼ 10 倍)↵

文字入力画面上部にある「ルーラー」に表示されている「インデント」の位置が変わっていることをご確認ください。

インデントの入っていない行では、インデントの位置はすべて一番左にあります。インデントを入れた行にカーソルを持っていくと、インデントの位置が、1文字分下がっていることが分かります。



ところで、文が1行を超えてしまった場合、行頭をそろえるにはどうすればいいのでしょうか？

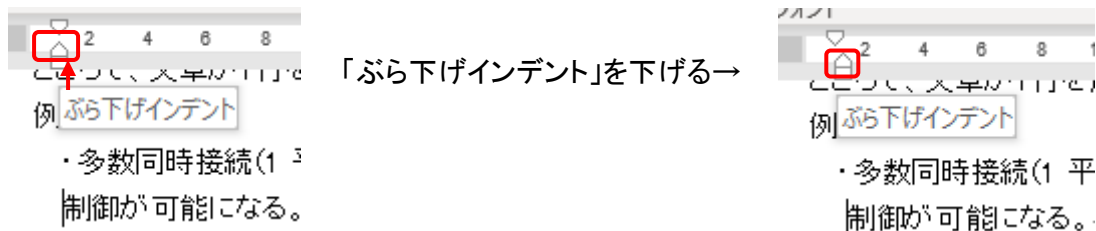
例えば：

- ・多数同時接続(1 平方キロメートル当たり 100 万台、4G のほぼ 10 倍) つまり、同時に多数の端末の制御が可能になる。

という文では、2行目の頭を下げて、上の行の「多数同時・・・」の頭に揃えた方がきれいです。

この場合、やり方は二つあります。

一つは、「下げる」行の頭を選択後、上から2個目のインデントマーク(ぶら下げインデント)をマウスでドラッグして下げる方法です。



ですが、この方法では「正確に」1文字分下がりません。頭の位置がまだ微妙に違います。

頭の位置を正確に揃えたいときは

① 上の行の最後で「改行」する。

改行↓

・多数同時接続(1 平方キロメートル当たり 100 万台、4G のほぼ 10 倍) つまり、同時に多数の端末の制御が可能になる。↵

② 2行目の頭にスペースを入れる

・多数同時接続(1 平方キロメートル当たり 100 万台、4G のほぼ 10 倍) つまり、同時に多数の端末の制御が可能になる。↵

↑スペース

この方が綺麗にそろうようです。

今日はこれまで。